



新たな地域農業構築による農業振興と 地域に貢献するJAづくりを日指して

代表理事組合長 佐藤 鉦一

明けましておめでとうございます。
 昨年は、依然として続くコロナ禍の状況にウク
 ライナ情勢や円安の影響が加わり、肥料、飼料等
 の生産資材のみならず食料品や多くの物の価格
 が高騰し、日本経済、JA事業、そして農家組合
 員の経営や私たちの生活面にまで大きな影響を
 受けました。

特にJA販売事業では生産資材高騰に関連し、
 畜産販売における和牛子牛や枝肉価格は下落・低
 迷し、乳牛のスマール価格は大幅に下落しまし
 た。また、水稲、野菜は、異常気象の影響を受け
 生産量が前年より1割以上減少し、農家組合員の
 経営は、かつてない厳しい状況となってきました。

このような状況から、政府は肥料高騰に係る支
 援対策に続いて酪農・畜産事業への支援対策を打
 ち出し、管内の2市町についてはいち早く支援対
 策を実施したところでもあります。当JAとしては
 一昨年の米価下落対策に関連し、昨年は主食用米
 に係る種もみや肥料への支援対策を実施しまし
 たが、さらに畜産農家への支援対策について、現
 在検討中であります。

JA経営は、高齢化による組合員減少や長引く
 低金利政策、コロナ禍等により、主要事業である
 信用、共済、購買事業に大きな影響を受けており

ます。地域農業振興、地域活性化を支えるJA経
 営基盤強化に向けたプロジェクトにおいて検討
 を重ねてきた結果、組合員、利用者の皆さまには
 ご不便をお掛けしますが、収支が悪化している支
 店、営農経済センターの再編を実施せざるを得ま
 せん。最終的には昨年5月開催の通常総代会にお
 いて決定をいただき、本年4月に実施の予定であ
 ります。また、いわて平泉米産地化に向けた米集
 出荷施設の新設については工事が順調に進展し
 ており、本年2月末完成の予定であります。
 合わせて不祥事再発防止に向けては、現在51項
 目の再発防止策を実践中であり、JA経営の信頼
 回復に向けしっかりと取り組んでまいります。

令和5年度からは、当JAとして「第4次中期
 経営計画（3カ年計画）」がスタートします。地
 域経済は、少子高齢化に物価高騰や出口が見えな
 いコロナ禍という厳しい状況にあり、飼料等の管
 内自給率向上にも取り組み、新たな地域農業構築
 による農業振興と産地確立、地域に貢献するJA
 を目指し、行政等関係機関との連携を密にまい進
 してまいります。

結びに、旧年中賜りましたご支援、ご協力に感
 謝申し上げますとともに、コロナ禍のいち早い収
 束と組合員の皆さまのご多幸をお祈り申し上げ、
 新年のごあいさつといたします。

代表理事組合長	佐藤 鉦一
代表理事専務	佐藤 一則
常務理事	高橋 敬之
常務理事	那須 元一
理事	阿部 和紀
理事	小山 晃
理事	小野寺 辰也
理事	今野 典子
理事	瀧澤 真一
理事	千葉 秀樹
理事	千葉 順子
理事	佐藤 秀行
理事	加藤 悦子
理事	遠藤 恭一
理事	大住 正樹
理事	佐々木 亨
理事	鈴木 勝
理事	阿部 幸文
理事	遠藤 勝幸
理事	小山 智
代表監事	佐藤 二郎
常勤監事	阿部 東悦
監事	千葉 淳
監事	小原 宏
員外監事	後藤 時廣

職員一同



本年もよろしくお願ひ申し上げます